

学校図書館支援センター通信 NO.59

10月号

平成24年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

協力校 公開授業研究会

～文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～

10月3日（水）に、学校図書館支援センター事業の協力校である第七中学校で、公開授業研究会が行われました。研究主題は「さまざまな人々と共に生きる力を育み、学ぶ楽しさを知り、自己肯定感を高める授業の在り方」で、22学級において授業が展開されました。

学校図書館を活用した授業は、国語・社会・理科の3教科で5展開が行われました。

- 1校時 社会「現代の民主政治」：国語「みんなで『歌舞伎ワールド』にアタック！」
- 2校時 理科「生命を維持するはたらき・行動のしくみ」：社会「国の政治のしくみ」
- 3校時 国語「竹取物語」



第七中学校では、全学年・全教科において図書館使用のルールが決まっており、生徒が図書館に入ると整然と授業が始まります。終了時には、図書の返却や机上の整頓はもちろん、ネットワークで借りた図書の冊数確認も生徒が行っています。

授業では、図書館員によるレファレンスが効果的に行われ、生徒が学習の中で、どのような図書を使えばよいのかを支援したり、引用や著作権について再確認させたりする場となっていました。生徒が行う「ウェビング」の作業も学年が進むに従って、内容が精査されており、学習の積み重ねを感じました。

もう一つの協力校である大洲小学校では、10月30日、11月5日・6日に公開研究会を予定しております。多様な折とは思いますが、ぜひ足を運んでみてください。



図書館の窓から



一中では、毎学期末（7月・12月・3月）にボランティア（ブロック内の小学校の読み聞かせサークル）による絵本の読み聞かせを学校行事として企画・実施しています。

約一ヶ月かけて日程の調整や、図書情報の収集を行い、念入りに準備をして本番を迎えます。

絵本の選書は学年ごとに異なります。先生方からのリクエストに合わせた内容の図書を選書するのは難しく、毎回慎重に行っています。

当日は、朝自習の時間に各クラスに1人ずつボランティアの方に入ってもらい、読み聞かせをします。

今年で9年目を迎え、地域との交流と本に触れる機会を同時に増やせるこの読み聞かせ行事を、今後も続けていけるよう頑張ります。

市川市立第一中学校 学校図書館員 酒井 亜由美



2012 読書週間 10/27～11/9



長かった夏が終わり、やっと秋の風を感じられるようになりました。

秋は、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」と、人それぞれの楽しみ方があると思います。各学校においても、「秋の読書集会」や「スポーツイベント」など様々な行事が企画されているのではないのでしょうか。

10月27日～11月9日までの2週間は、「読書週間」です。これは、すべての世代の人たちに本に親しむきっかけをつくって欲しいという考えに基づいた運動です。この運動に刺激を受けて書店や図書館で一冊の本を手にとってみる。そんな行動から読書への関心がスタートすると考えられています。「秋・読書週間に、ぜひ、一冊の本を」が活動の原点だそうです。

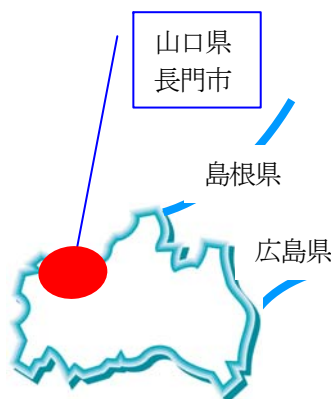
「いつの時代も『子どもが本を読まなくなった』と叫ばれ続けてきました。特に近年においては、映像・電子メディアなどの発達で、子どもたちの「読書」の時間がせばめられています。しかし、たとえマルチメディア時代になったとしても、それを動かす主役が人間である以上、活字文化はすべてのメディアの基礎であり、特に幼少時から青少年時においての本とのつきあいが重要であるという認識のもとに、この運動がすすめられています。」

（社団法人 読書推進運動協議会 ホームページより一部抜粋）

これは、市川市中央図書館の児童サービスの「一生を通じて本に親しめるかどうかは、短い子ども時代にかかると本を楽しんだかにかかってくる。」という考え方と同じです。

毎日たくさんの図書が、子どもたちの学習環境や読書生活を支えている市川市の学校図書館と公共図書館の大切さを改めて感じました。

金子みすゞ読本のご紹介



山口県長門市教育委員会が発行している冊子「みんなをすきに」が、長門市教育委員会のご厚意で12冊頂けることになりました。

この本は、長門市出身の金子みすゞさんのことをまとめた冊子で、作成には児童文学作家の矢崎節夫さんも携わっていらっしゃいます。

市川市で使われている小学校5年生の国語の教科書に、矢崎さんの「みすゞさがしの旅」が掲載されています。

この副読本を、中央図書館よりネットワーク貸し出しします。数が限られているので、当面の間は「1校1冊 延長なし」です。

依頼は中央図書館へお願いします。授業等でぜひご活用ください。

【掲載内容（98ページ・A4サイズ）】

- *みすゞさんの作品（多数）
- *作品の解説（8作品）
- *英語で味わう「みんなを好きに」
- *みすゞさんがうたった仙崎八景（写真）・マップ 他

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

